生徒会誌「北陽」巻頭言

「自分の価値を信じること」と「他者の価値を認めること」は、常に対立するのだろうか
～Open-minded の概念から考える～

高校生活の中で、皆さんが大切にしているものは何ですか？
学習ですか？ 学校行事ですか？ 友人と楽しくおしゃべりする時間ですか？一人一人が、それぞれに大切にしているものがあるのでしょうね。

皆さんは、高校生活の中で、さまざまなことに取り組んでいます。その取組一つ一つに、素晴らしい価値があると信じ、挑戦しているのではないでしょうか。
そして、皆さんが自分の取組の価値を信じているのと同時に、スクールメイトたちもまた、それぞれの取組の価値を信じながら、挑戦しています。

> 自分が取り組んでいることや、経験、考え方の価値を正しく受け止めると同時に、
> スクールメイトが取り組んでいることや、経験、考え方の価値もまた、正しく受け止めよう

これを、Open-minded といい、私たちの学校が大切にしている概念です。

「自分の価値を信じること」と「他者の価値を認めること」は、対立するものではありません。むしろ、自分の価値観を大切にするからこそ、他者の異なる価値観にも心を開くことができるのではないでしょうか。

高校生活の中で、多様な視点に触れ、
そこに新たな価値を見いだし、その経験
を自らの成長につなげるために、
「心を開く人」になろう。

偏見を持たず、思いやりと共感、そして
尊重の精神を養い、スクールメイトの
高校生活や、私たちの学校をより良くする
ために行動しよう。

生徒会誌「北陽」には、さまざまな人の、
さまざまな取組に対する思いや価値観が、
一つに包み込まれるように、詰まっています。
僕は、そんな生徒会誌「北陽」が大好きです。

